

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		1,060,645	1,334,165	1,224,886					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	707,091	889,437	816,585					
	一般財源	353,554	444,728	408,301					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市町村職員中央研修所への派遣職員数	市町村職員中央研修所及び全国市町村国際文化研修所に毎年35人程度派遣予定(H30はJAMP18人、JIAM16人)		人	目標	20	20	18
						実績	13	17	14
					目標達成率(%)		65	85	77
	②					目標			
						実績			
目標達成率(%)									

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>自治体職員には、行政運営に関する専門的知識とともに、変化し続ける社会情勢に対応できる高い能力が求められている。</p> <p>本事業は、それらの能力を習得させる貴重な機会であるとともに、他自治体の職員との交流により、それぞれの自治体が抱える課題、また先進的な取り組み事例などの情報交換の場でもあることから、効率的・効果的な職員の能力向上に繋がっている。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	研修科目、時期、受講要件により派遣研修科目を検討しているため、今年度は全国市町村国際文化研修所への派遣要望が多かったことや、申し込んだものの選考漏れ等で派遣できない場合が生じたため。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	派遣した職員が得た知識や情報は、当該職員のみならず、職場において共有化を図っており、常に最新のものを蓄積しながら、実務を行っている。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	本研修を通じて、職員が高度な専門的知識と幅広い見識を習得することによって、より効果的に住民の福祉と地域の振興につなげられる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					